



平成28年8月5日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(JASDAQ・コード 8704)
問合せ先 執行役員 財務部長 朝倉 基治
(TEL 03-4330-4700 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

連結業績予想値の修正

平成29年3月期の連結業績予想修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	7,100	270	190	180	2円30銭
今回修正予想(B)	6,750	110	10	0	0円00銭
増減額(B-A)	△350	△160	△180	△180	
増減率(%)	△4.9	△59.3	△94.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	2,938	△101	△77	20	0円31銭

<修正の理由>

当第1四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）の実績値と従来予想の同期間の予想値に乖離が生じたので、通期連結業績予想値を修正することといたしました。

営業収益は、従来予想7,100百万円から350百万円下方修正し、6,750百万円（対前期比3,812百万円増加）となる見込みです。これは主に、第1四半期累計期間の実績において、トレーダーズ証券株式会社（当社子会社）の外国為替証拠金取引『みんなのFX』等のトレーディング損益は従来予想を約100百万円上回ったものの、株式会社ZEエナジー（当社子会社）

のバイオマス発電設備製造に係る完成工事高が、建屋建設の遅れ、冷却装置等の追加仕様への対応等で工事に遅れが生じ従来予想を約440百万円下回ったことによります。建屋は既に完成し製缶品の設置が進んでいるとともに、追加仕様への対応も行われ問題解消に向かっていますが、同工事の遅れは第2四半期以降に見込んでいた他のプロジェクトの工事遅延を招き営業収益を低下させる可能性が高いことから、通期において従来予想7,100百万円の達成は厳しいと判断しました。

営業利益は、従来予想270百万円から160百万円下方修正し、110百万円の営業利益（対前期比211百万円の回復）となる見込みです。これは主に、第1四半期累計期間の実績において上記の完成工事高減少による営業利益の減少が従来予想を約170百万円下回ったことによります。

経常利益は、上記理由に加え、第1四半期累計期間において訴訟関連の未収金に対する貸倒引当金額10百万円を営業外費用として計上したことから、従来予想190百万円から180百万円下方修正し、10百万円（対前期比87百万円の回復）となる見込みです。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、従来予想180百万円から180百万円下方修正し、収支均衡（対前期比 20百万円減少）となる見込みです。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。

以上